

MORI のめざめ



[発行元] 社会福祉法人 奉優会
港区立特別養護老人ホーム 白金の森

[編集] 白金の森 事務課 芦田

[お問い合わせ先] 03-3449-9611(代表)

[HPアドレス] <http://www.foryou.or.jp>

第6号 平成24年7月発行

平成23年度の第三者評価結果をお知らせします。

福祉サービス第三者評価 (The Welfare Service Third-Party Evaluation) とは

東京都における福祉サービス第三者評価制度では、「自分の利用したい事業所の特徴はどのようなことか」、「サービスの質はどのような状態にあるのか」など、利用者の皆さんのがサービスを選択する際の目安となり、都民の皆さんのが事業所の内容を把握することが可能となるように、各事業所の評価結果を公表しています。今回は平成23年度サービスの実施について、評価項目とその講評の一部をご紹介いたします。講評について、詳細が「とうきょう福祉ナビゲーション」に掲載されていますので、そちらもご覧下さい。

[HPアドレス] <http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

サービス分析結果（抜粋）

項目1. 施設サービス計画に基づいて自立生活が営めるよう支援を行っている

【講評】①計画に基づいた24時間シートを作成し支援を行っている ②生活の継続を踏まえた支援を行っている
③関連するすべての職種が連携して利用者の支援を行っている

項目2. 食事の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている

【講評】①利用者の嚥下機能や病態に応じた食事の提供をしている ②栄養ケアマネジメントを実施し栄養状態を改善している
③いつまでも経口での摂取ができるよう訪問歯科医等と連携した支援を行っている

項目3. 利用者が食事を楽しむための工夫をしている

【講評】①利用者の嗜好に合う食事を提供している ②食事の時間は夜間を除いて自由にしている
③食事でのテーブルの位置がある程度固定してきている

項目4. 入浴の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている

【講評】①利用者の状態と希望に応じた入浴形態で支援している ②アンケートを取り希望する利用者に週3回の入浴を提供している
③音楽を流し季節を感じさせる入浴を工夫している

項目5. 排泄の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている

【講評】①利用者に自然な排泄を促す支援を行っている ②排泄支援に対する全職員のチェックとマンツーマンでの研修を行っている
③排泄版個別マニュアルを作成し支援を行っている

項目6. 移動の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている

【講評】①外出企画を立て住み慣れた町を散策してきた ②毎週OJTによる移乗の研修を実施している
③作業療法士が中心となって車椅子等の環境整備を行っている

白金の森が
特に力を入れている取り組み

*職員間のコミュニケーションの機会を多くとり上長が相談にも応じている

*利用者の生活の記録が分かりやすく記載され共有化されている

*利用者が個になると自由を視野に入れた支援をしている

7月の施設内の様子をお伝えします。

短冊に願い事を書いて、飾りつけました。

7月7日 七夕行事

七夕への願い

☆健康でありますように…西川しげ子

☆天国に逝った夫が健康でありますように…和田とよ

☆14の春に返して下さい…2Fのおり姫

2Fのおり姫さんにその思いはと聞きました。石川啄木が好きでよく読んだ、

おの 己が名を ほのかに呼びて 涙せし

十四の春にかえる術もなし

この年令になって、この短歌を思い出しながら思います。

14のころに 帰りたい

14のころは 母も生きていた

14のころは 自分も若かった

あのころの14の春に返して (2Fのおり姫より)



気持ちわかりますね。年齢の違いはありますが、私達も同じ思いがありますね。

あの頃に帰りたい。もう一度やりなおしたい。職員I



柴崎真保先生 の和菓子教室

毎月、第1金曜日に開催

『誰もが男女問わず、年齢も関係なく、初めての人でも本格的な和菓子が作れるように』がモットーの、元気でユニークな先生です。



講師の真保さん

7月は“水まんじゅう”を作りました。中には、抹茶味のあんこが入っています。作り方のポイントは、材料の寒天をしっかりと沸騰させること。もともと“水まんじゅう”は、井戸水に冷やして美味しいお水と一緒にツルツルと食べるものでした。夏には必須の和菓子ですね。よく、冷蔵庫で冷やしていただくと美味しいですよ～♪





24年度重点施策 その①～栄養編～



～メニュー～

- ・ジューシー・アーサー汁・ラフター・ゴーヤチャンプル
- ・パインアップル

24年度事業計画で、柱のひとつである「たべる」。お食事が食べられない方は食べられるように…。食欲も出る、今月の郷土料理をご紹介いたします。7月は沖縄県のメニューでした♪

ジューシーとは、肉や野菜を入れた炊き込みご飯です。入れるものによって、フーチバー（よもぎ）、カンダバー（イモの葉）、チリビラー（ニラ）などがあります。

アーサーとは、海藻のことです。別名「あおさ」とも言います。「あおさ」はワカメをはじめとする他の海藻よりも高タンパク質・高食物繊維・ビタミンCも豊富です。

ラフターは沖縄風、豚の角煮です。じっくり煮込んで作られる“ラフター”は、脂肪分が落ちている為、思っている以上にヘルシーな食材です。

管理栄養士 児玉



事業計画で、二つめの柱は「あるく」。歩行に不安のある方は歩行訓練などを行ない、歩けるように…。リハビリ活動の取り組みをご紹介させていただきます。



白金の森では機能訓練の一つとして、ご利用者様の状態に合わせた関節可動域訓練を行なっています。

～関節可動域訓練とは？～

日常生活に必要な関節可動域（関節の動かせる範囲）の維持や拡大、拘縮予防を目的とするものです。最初は、作業療法士がご利用者様の上肢や下肢を動かすことにより、関節の動きを改善させ、徐々に作業療法が少しだけ介助しながら、最終的には利用者様自身で上肢および下肢を動かしていきます。

作業療法士 宮澤

色々なお話をしながら、楽しく行ないます♪

24年度重点施策 その②～リハビリ編～





～高齢者の疾患と症状の基礎知識～

高齢者の身体的機能の変化と 生活上の障害および介護ポイント

人は、20～25歳をピークに身体的機能が衰退し始める。この衰退の歩みが老化現象である。それは外見の変化ばかりではなく、体を支えているさまざまな器官や機能も衰退していく。

正常な老化の過程を理解することは、介護職にとって大変重要なことである。加齢による心身の変化は個人差が大きく、高齢者個々人が抱える生活課題はさまざまである。そのため、老化を正しく理解することは、高齢者の生活の質を向上するための大切な視点となる。

筋・骨格

筋委縮と筋緊張の低下により筋力・持久力が低下する。脊椎前屈、円背、骨の委縮、骨量の減少により骨がもろくなる。

〈起こり得る生活上の健康問題と障害〉

筋力・持続力の低下により疲れやすくなる。関節痛、関節可動域制限、動作の緩慢化、転倒・骨折の危険性が高まる。

〈高齢者に起こりやすい疾患の症状〉

骨粗鬆症、変形性関節症、骨折

〈介護上のポイント〉

適度な運動をして、カルシウム、ビタミンD、良質のタンパク質を多く含む食品を摂取して、バランスの良い食事を支援する。関節痛などの疼痛がある場合は、疼痛の緩和、筋力を増強するためのアクティビティなどを支援する。

参考書籍:『介護教育 基本テキスト』日総研出版

ケアマネージャーの ひとりごと

Vol. 5 「人見知り」



成田 寛一郎

研修や見学等で他の施設へ勉強に伺う機会があります。私は研修の初めに必ずその施設の入居者の方とご挨拶し世間話をします。声を掛けて頂くこともあります。自分から話しかけることもあります。「どこからきたの」「子供は、結婚しているの?」等々、緊張して落ち着かない様子を察して下さるのか、どの施設へ伺っても入居者の方が笑顔で受け入れて下さります。

人見知りの私ですが、この会話がはじめにあると緊張がほぐれてその施設での居場所が見つかる感覚になり、安心できます。人前に出て話をする場面がある際は白金の森の中でも実はこの方法で入居者の皆様に緊張をほぐして頂いています。

若葉の声

新入社員とご利用者様の
“今”をお伝えします。



介護1課 藤田愛華

こんにちは。白金の森で働き始めてから今年で2年目になります。昨年はわからないことだらけで毎日不安を感じていましたが、こんな私の事を入居者様や職員の皆さまは暖かく受け入れて下さいました。

今は悩むことがあります。人生の大先輩である入居者様達からたくさんの方を教わり、だんだんと自信を持てるようになりました。

昨年は自分のことで精いっぱいという感じでしたが、今年は大切な入居者様達が安心して楽しく生活できるよう、積極的に頑張りたいと思います。

